

## 梓川地区の公共交通に関するアンケート調査報告書 【学生対象】

### 1 調査概要

#### (1) 調査の目的

梓川地区の公共交通に関する課題の原因分析、改善策、補完策を検討することを目的に実施しました。

#### (2) 調査対象

梓川地区の世帯で、高校生以上の学生がいる場合に、その内の1人に回答を依頼しました。

#### (3) 実施方法

一般住民対象と同一用紙により、町会長、隣組長経由でアンケート用紙を配布し、後日回収を行いました。また、ながの電子申請サービスによる回答も併用して受けました。

#### (4) 調査期間

令和3年7月28日～8月20日

#### (5) 回収結果

##### ア 町会別アンケート回収数

生活圏	山麓南部				立田		学校周辺				
町会	八景山	花見	上野	丸田	上立田	下立田	杏	こまち	上角	下角	角影台
回収数	2	2	3	1	9	6	3	8	5	18	0
	8				15		34				

山麓北部				北大妻	上・南大妻		横沢	氷室・岩岡		合計
小室	北々条	南北条	大久保	北大妻第1～4	上大妻	南大妻第1・2	横沢第1～3	氷室第1・2	岩岡	
5	1	0	2	14	10	18	24	13	6	150
8				14	28		24	19		

##### イ 年齢別アンケート回収数

年齢	15	16	17	18	19	20	21	24	32	35	その他	合計
人数	18	47	44	23	5	5	3	1	1	1	2	150

※ 「その他」は高校生未満

### 2 調査結果のまとめ

コミュニティバス等の公共交通に望むこととして、JR線の駅への連絡を望む声が多く、一般住民と同様に、地区内の移動よりも松本市中心市街地への移動の需要が高い傾向がみられました。

コミュニティバスと鉄道との接続がしやすくなるための路線・本数等の見直しや、松本市中心市街地までの直行便等について検討する必要があると思われます。

### 3 調査結果の詳細

#### (1) 回答者の現状

ア 「通学のため、まず行く場所はどこですか」(問2-1: 1つを選択)

「その際の交通手段は何ですか」(問2-2: 1つを選択)

まず行く場所の上位3者は、「JR梓橋駅」が最も多く57.4%で、次いで「直接学校

まで」が23.6%、「JR一日市場駅」が9.5%でした。

その際の交通手段については、「自転車」と答えた割合が最も高く61.5%、次いで、「家族等による送迎」で27.0%等でした。

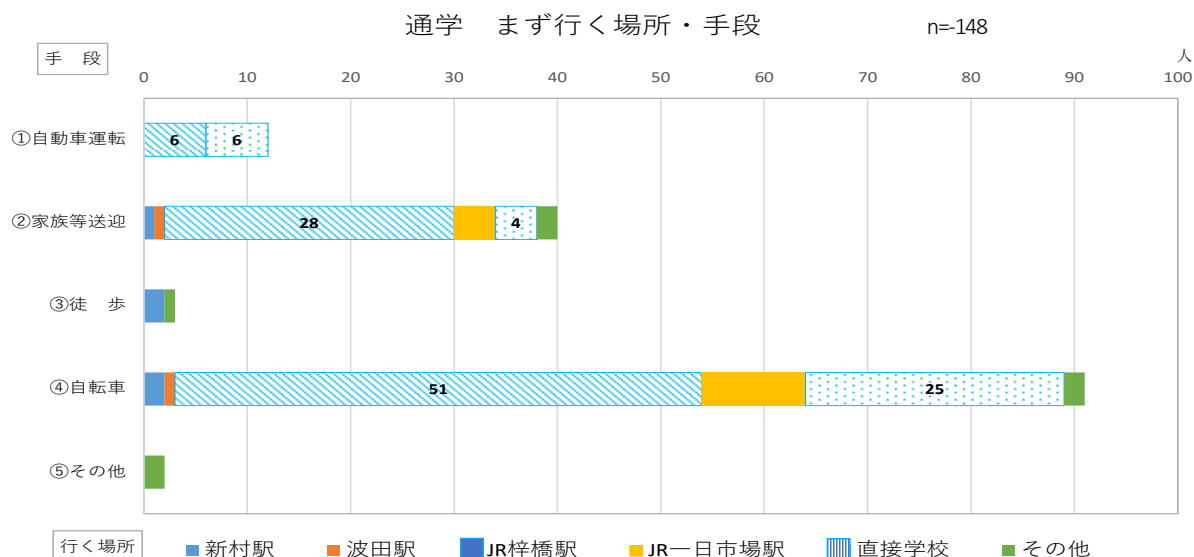
JR線を利用するため、自転車で通学する学生が多い傾向がみられました。

交通手段	新村駅	波田駅	JR梓橋駅	JR一日市場駅	直接学校	その他	計	構成比率
①自動車運転			6		6		12	8.1%
②家族等送迎	1	1	28	4	4	2	40	27.0%
③徒 歩	2					1	3	2.0%
④自転車	2	1	51	10	25	2	91	61.5%
⑤その他						2	2	1.4%
計	5	2	85	14	35	7	148	100%
構成比率	3.4%	1.4%	57.4%	9.5%	23.6%	4.7%	100%	

※ 高校生未満を除く

行く場所の「その他」の主な内容(単位:人)

- ・森口駅(2)
- ・松本駅(1)
- ・新島々駅(1)



イ 最寄りの駅まで公共バスがあれば利用したいか(問2-3:1つを選択)

「はい」と答えた割合が54.4%、「悪天候時に利用したい」が30.9%と、この2つで85%を超えました。

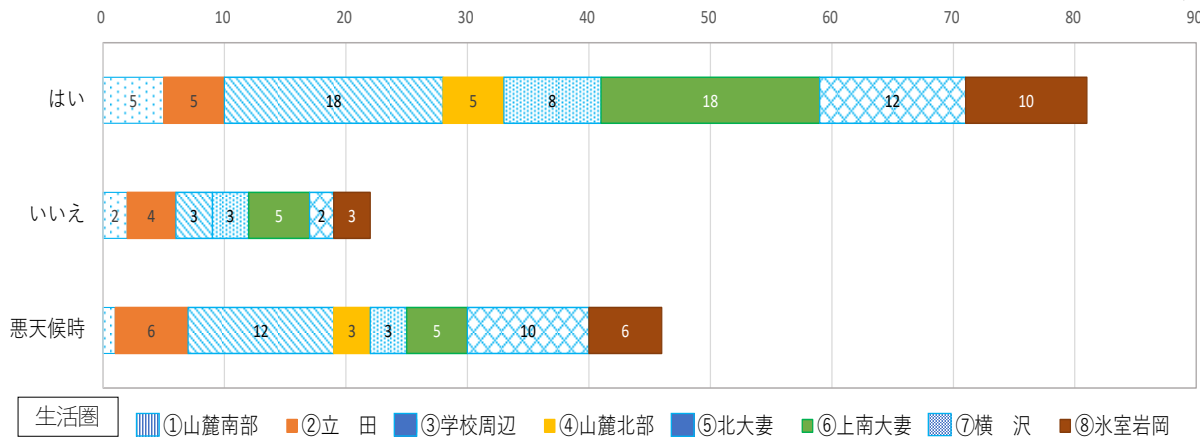
生活圏	はい	いいえ	悪天候時	計
①山麓南部	5	2	1	8
②立 田	5	4	6	15
③学校周辺	18	3	12	33
④山麓北部	5		3	8
⑤北大妻	8	3	3	14
⑥上南大妻	18	5	5	28
⑦横 沢	12	2	10	24
⑧氷室岩岡	10	3	6	19
計	81	22	46	149
構成比率	54.4%	14.8%	30.9%	100%

※ 未回答を除く。

最寄り駅までの公共バス利用希望（学生）

n=149

人  
90



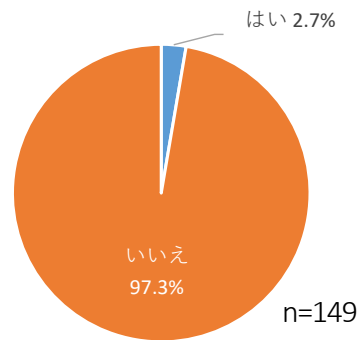
(2) 西部コミュニティバス梓川・波田線（以下「バス」という。）の利用状況

ア バスを利用しているか（問3-1：1つを選択）

「はい」と答えた割合が全体の2.7%でした。

利用有無	人数	構成比率
はい	4	2.7%
いいえ	145	97.3%
計	149	100%

※未回答を除く。



イ <バスを利用している人> への問い

どの程度利用しているか

（問3-2：1つを選択）

利用頻度	人数
月2～3回	2
週に複数回	2
計	4

ウ <バスを利用している人> への問い

最終目的地はどこか

（問3-3：1つを選択）

目的地	人数
松本市中心市街地	1
市立病院・波田駅	2
その他	1
計	4

エ <バスを利用していない人> への問い

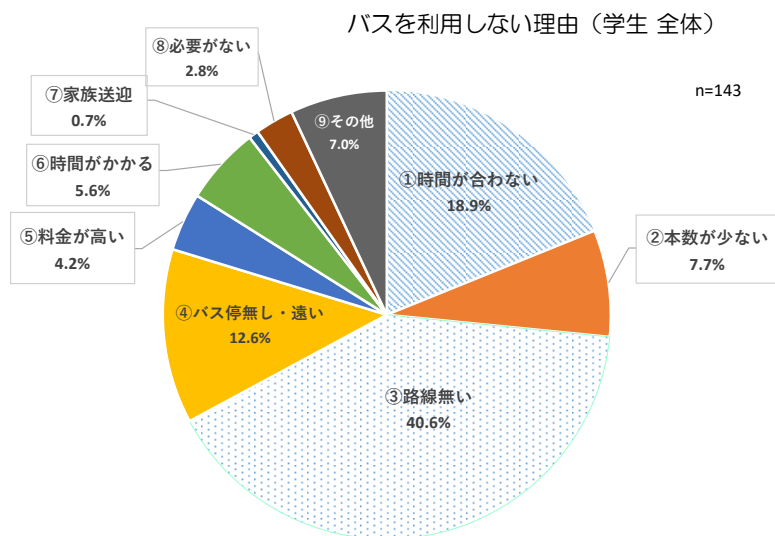
利用しない理由は（問3-4：1つを選択）

「目的地への路線がない」と答えた割合が最も高く40.6%、次いで「時間が合わない」が18.9%等でした。

3-4バス利用しない理由	12歳	13歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	24歳	32歳	35歳	計	構成比率
①時間が合わない	1		2	8	9	5		1	1				27	18.9%
②本数が少ない			1	4	4	1		1					11	7.7%
③路線無い		1	6	15	20	10	2	1	1	1	1		58	40.6%
④バス停無し・遠い			3	7	6		1		1				18	12.6%
⑤料金が安い			1	2	1	2							6	4.2%
⑥時間がかかる			1	1	2	2		2					8	5.6%
⑦家族送迎			1										1	0.7%
⑧必要がない			1	1		2							4	2.8%
⑨その他			1	5	1		2					1	10	7.0%
計	1	1	17	43	43	22	5	5	3	1	1	1	143	100%

「その他」の主な内容 (単位:人)

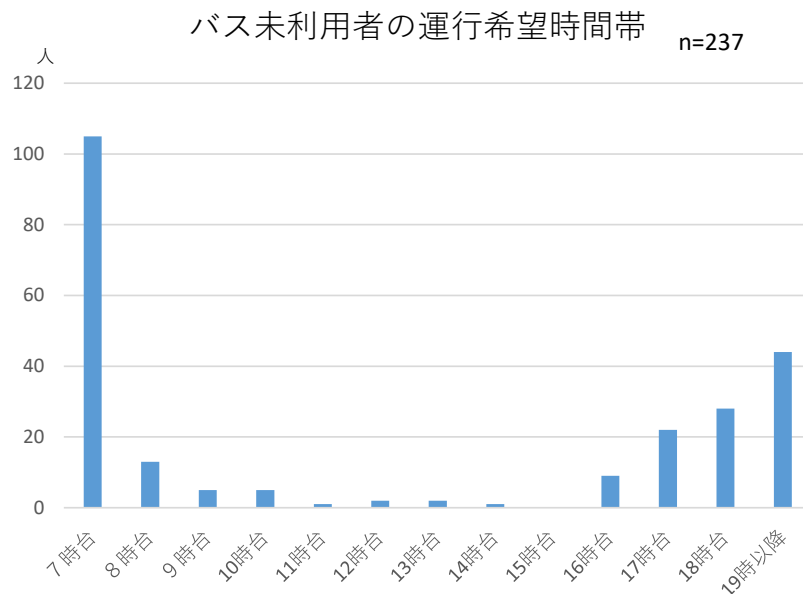
- ・車がある (2)
- ・自転車の方が早い (1)
- ・バスがあることを知らなかった (1)



オ <バスを利用していない人> への問い

運行を希望する時間帯は (問3-5:複数選択)

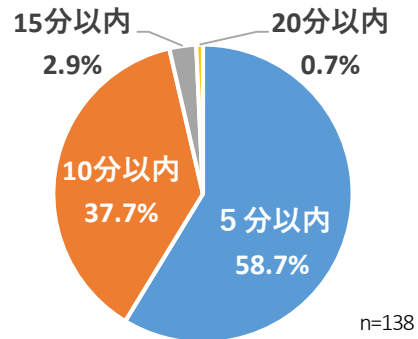
「午前7時台」と答えた割合が最も高く (回答者の74.5%)、次いで「午後7時台以降」で30.3%、「午後6時台」が20.0%等でした。なお、自由記述等により「午前6時台」と答えた人も6人いました。



カ <バスを利用していない人> への問い  
 バス停は徒歩でどの位ならよいか (問3-6: 1つ選択)

「5分以内」と答えた割合が60%近くに上りました。

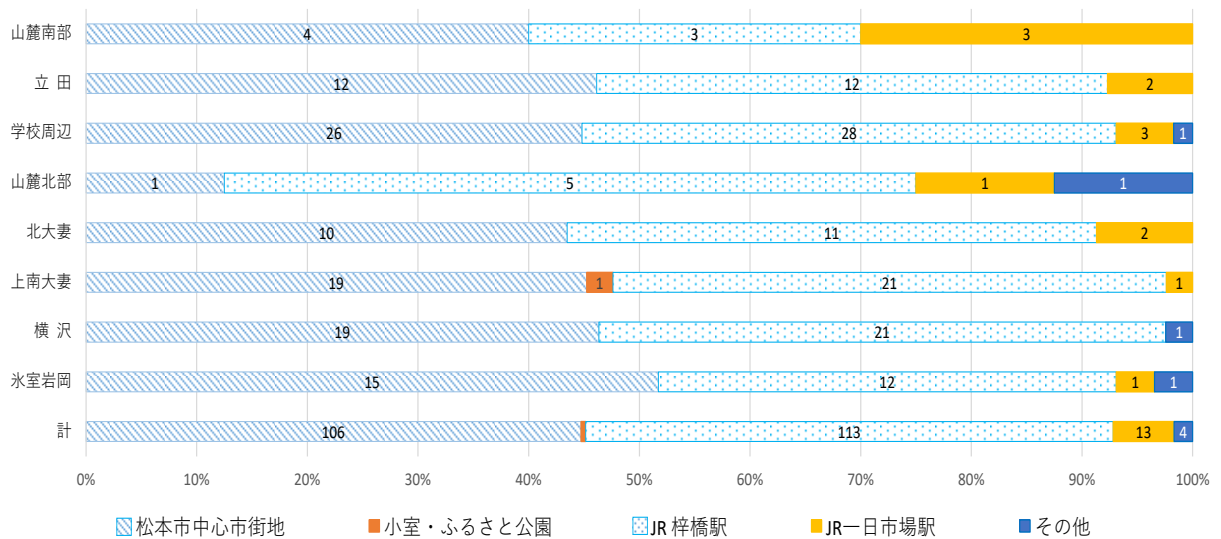
許容時間	人数	構成比率
5分以内	81	58.7%
10分以内	52	37.7%
15分以内	4	2.9%
20分以内	1	0.7%
計	138	100%



※未回答を除く

カ <バスを利用していない人> への問い  
 どこへ行く路線があれば利用したいか (問3-7: 複数選択)  
 「JR梓橋駅」と答えた割合が最も高く (回答者の77.9%)、「松本市中心市街地」が73.1%で、大多数がこの2カ所を希望しています。

バスを利用していない人の新設希望路線 (生活圏別 学生) ※2つまで選択可 n=237



(3) 「冬期間の利用交通に関する意見・要望」 主なもの (問4: 自由記述) (単位: 人)

ア JR線等への連絡を

- ・ 降雪時、自転車は大変危険なので、JR梓橋駅等への通学時間帯のバスが欲しい (8)

イ 停留所の増設や待合所整備を

- ・ 雨・風・雪をしのげる屋根を付けてほしい (2)
- ・ 降雪時はバス停まで歩くのが大変だから家の近くに停留所があれば助かる (1)

ウ 通年運行を

- ・ 冬期間も変わらず運行してほしい。(2)

エ 冬期のダイヤの見直しを

- ・ 本数や運行時間帯を増やして欲しい (2)

オ その他

- ・ 自転車を載せられるバスを運行して欲しい (1)

(4) 「その他の意見・要望」 主なもの (問5:自由記述) (単位:人)

ア JR線等の駅や松本市中心市街地直通のバスを

- ・ JR梓橋駅等の駅への通学時間帯のバスが欲しい (11)

イ 本数の増加、運行時間の見直しを

- ・ 朝6時台や7時台、夕方18時台や19時台の運行を (9)
- ・ 八景山方面までのバスを増便して欲しい (1)
- ・ 冬期間のみ合同庁舎方面へのバスの運行を (1)

ウ 新システム導入を

- ・ スマホ(SNSの活用等)で、バス停へのバスの到着時刻がわかるシステムがあれば利用しやすくなる (2)

エ その他

- ・ 自転車を載せられるバスを運行して欲しい (1)
- ・ バス停の近くに自転車置き場があれば利用しやすい (1)
- ・ 雨天時は自転車は危険なのでバスを運行して欲しい (1)
- ・ 運賃は低料金で (1)
- ・ 八景山橋が増水時に通れないので通学時にもバスを通して欲しい (1)
- ・ 夜間は真っ暗なので街灯を増やして欲しい (1)
- ・ 高齢者がさらに増えるのでバスを運行して欲しい (1)
- ・ バスがあることを知らなかった (1)